

史料紹介

# イエール大学所蔵『応永三十二年具注暦』について

菊 地 大 樹

ここに紹介する『応永三十二年具注暦』は、アメリカ合衆国コネチカット州ニューヘイヴン市イエール大学バイネッキ貴重書図書館 (Beinecke Rare Book and Manuscript Library, Yale University, New Haven, Connecticut, USA) 所蔵、「日本文書コレクション」の一点である(架蔵番号 SML 九二)<sup>(1)</sup>。本史料の紙背には、後述のように「後宇多院七回忌曼荼羅供記」が書写されている。今回、西田友広氏と協力して本史料の全体を紹介することとした。紙背については、本紀要に西田氏が紹介を執筆しているので、併せて参照されたい。

イエール大学日本文書コレクションは、アメリカにおける日本研究の先駆者である朝河貫一の尽力により、イエール大学の日本人卒業生を中心に募集された基金によって購入架蔵された史料群である。しかし、海外に架蔵されている史料群だったこともあり、残念なことに本史料も含めて、必ずしも十分な研究がなされないままに時日が経過していた。このような状況の中、国文学研究資料館が一九八七年度より実施した調査がきっかけとなって、本史料群が改めて注目されることとなる。特に「応永三十二年具注暦」については、紙背の「後宇多院七回忌曼荼羅供記」を小峯和明氏が翻刻紹介した<sup>(2)</sup>。

筆者が二〇〇三年にはじめてイエール大学を訪れ、日本イエール協会コレクションの概要調査を行った際、本史料ははまだスターリング記念

図書館 (Sterling Memorial Library) 東アジア図書館の所管であったが、すでにその貴重性が十分認識され、一般書とは区別して貴重書室に保管されていた。その後さらに、バイネッキ図書館に移管されて現在に至る。筆者は二〇〇三年に本史料を熟覧した際、具注暦のみと思われていた本史料の行間に多くの書入記事があることを発見した。ただし、いわゆる暦記のように、記事を書き入れるための間あきはなく、あくまで具注暦への書き込みである。

その後、二〇〇五年にも調査の機会を得たが、二〇一一年一月より二月にかけて一か月の間、バイネッキ図書館研究員 (Yellow) として滞在の機会を与えられ、多くの貴重書を熟覧する幸運に恵まれた。そこで特に、本史料についての調査研究を進め、今回具注暦および書入れ記事の全文を翻刻紹介するものである。

次に、本史料について簡単に検討しておきたい。本史料は二三張からなり、縦二八・八センチメートル、応永三十二年具注暦の全部を収める。現状では具注暦を内側にして巻き込んでおり、こちらが表、「後宇多院七回忌曼荼羅供記」が裏という扱いになる。しかし、本来は具注暦が一次利用面であり、これを廃棄して裏とし、二次利用面を表として曼荼羅供記を書写したものである。伝来については、巻頭・巻末に付された表紙・補紙が参考になる。これらは宿紙(薄墨紙)で、それぞれ「追申、

刻限寅刻候也」「追申、申刻可有参集也」と記されていることから、もとはおそらく近世の某天皇綸旨の一部だったものであろう。これらのうち巻末補紙には、「春和堂」(若林茂一郎か)による押紙が付され、本史料の伝来の経緯が記されている。春和堂は、現在も京都市内で営業を続ける古書肆若林春和堂のことであろう。<sup>3)</sup>それによれば、明治三十七年(一九〇四)ごろに西洞院家所蔵であった本史料を譲り受け、これに滋野井家から譲り受けた薄墨紙を付したものであるという。時期的には、朝河が渡日してコレクシヨン事業を始めるのとはほぼ一致しており、朝河あるいは日本において協力者であった帝国大学文学部史料編纂掛(現在の東京大学史料編纂所)の掛長(現在の所長)三上参次らの働きかけにより、春和堂の手を経て日本イェール協会コレクシヨンに加えられたものであろう。

しかし、本史料は本来公家文庫に伝来したものではないと思われる。紙背文書はもちろん、書入れ記事の内容からすると、記主は僧侶、しかも仁和寺あるいは醍醐寺周辺に関係を持つ東寺あたりの僧であったと考えられる。従って、本来の伝来はこれらの周辺の寺院であり、何らかの経緯でそこから流出して近代には西洞院家に伝わっていたものであろう。そこで記主であるが、今回は力及ばず確定することができなかった。同時代の日記と言えば、まずは『満濟准后日記』がある。本史料にも、七月二三日条に「法身院来住」とあるのは、記主が満濟のもとに伺候したということかと思われる。しかし、全体としては『満濟准后日記』と登場人物もあまり重なることはなく、両日記の間に必ずしも密接な関係は認められない。ただし、記主はある程度身分の高い僧侶であったと思われる。満濟との関係もその徴証の一つであるが、他にも多く見える茶の贈答記事の相手として、「八幡長老」(真言律宗善法寺長老か/三月二六日条)・「随心院」(五月七日条)等が記されるのも同様に記主の立場

を推定する手がかりとなる。また、ひとたび周囲の人物が没すると、七日ごとの忌日を記録しているのもこの書入れ記事の特徴であるが、この中で特に注目したいのは、三月四日条に「若初七日」と見えることである。これは、この年二月二十七日に一九歳の若さで夭折した室町幕府第五代将軍足利義量の初七日忌事を指すであろう。以後、六七日まで記事が続く、記主が追善仏事に関与していたことが推し量られる。

さらに、宮中の動向に関する情報をいち早く入手しているのも興味深い。例えば、「二宮御頓氣」(二月一五日条)と見えるのは、称光天皇皇弟小川宮の薨去を指している。五月一六日条に見える百日忌の記事も、小川宮にかかるものであろう。称光天皇に皇子はなく、宮の頓死は皇統の行く末を考えれば大事件であった。このわずか半月後、幕府では先述の義量薨去により同じく後継問題が浮上する。このような宮中関連記事の中でも、本史料の中で最も注目したいのが称光天皇臨死の記事である。七月二六日子刻ころより急病により下血を呈した天皇は、二八日には仙洞(後小松上皇御所)に移る。病中の行幸は異例であり、内裏での頓死を避けるための措置であろう。二八日に後小松上皇が伏見宮貞成親王皇子彦仁王(後の後花園天皇)の年齒を問うたというのは(『看聞日記』)、万一に備えての皇位継承を想定してのことであり、あわせて病状の深刻さが推し量られる。ついに翌二九日、記主は「崩御」と記す。しかし、実際には天皇は蘇生、翌八月一日にはなお崩御を前提として種々の沙汰があったが(『薩戒記』)、称光天皇崩御はこの三年後の正長元年(一四二八)であり、この時は回復している。

これと直ちに関連させてよいかどうか慎重な検討が必要であるが、本史料の記事として同じく興味深いのが、称光天皇臨死事件のひと半月ほど前に起きた、大地震である(閏六月一七日条)。記事中ではこの地震を「大凶」と見ており、さらに「仙洞御崇云々」と記している。この仙

洞は後小松上皇ではありえず、前年に当たる応永三二年(一四二四)四月一二日に崩御した後亀山法皇であると考えられる。南北朝合一にあたり、吉野より帰京した後亀山院を「仙洞」と呼称する例は散見される(『吉田家日次記』応永一〇年正月二八日条・『教言卿記』応永一七年三月八日条他)。よく知られているように、後亀山天皇は南朝の皇子を皇嗣に立てるといふ条件で、北朝後小松天皇に譲位する形で帰京し、南北朝合一が実現したが、実際には約束は反故にされ、後小松の次には称光天皇が即位する。後亀山院には、称光天皇の治世を呪う十分な理由があった。北朝後小松院の皇統にこの年次々に起こった災難が、往々にしてこの後亀山院の祟りと関連付けられたのも無理からぬことであろう。

もともと、『看聞日記』『薩戒記』によれば、先述の称光天皇臨死事件は、紫野徳禅寺(大徳寺)より庭石を内裏に移動したことによる怪異であるとして、称光天皇が便所で物怪に襲われた伝聞を記す。しかし、同じくこれらの日記では、八月になって、実は南朝の密命を受けた三条なる老女が、内侍所で呪詛祈願を行っていたとの嫌疑をかけられ処罰された事件についても述べているのである(八月二〇日条)。災厄の原因を執拗に後亀山院の怨念・呪詛に帰せようとする当時の人々の心性の一端が垣間見られよう。

この点については、本史料の史料名や紙背についても若干の言及が必要である。本史料の冒頭には先述の通り宿紙を転用した表紙が付されるが、表紙題簽に「裏書 後亀山院元徳二年漫茶羅供之訣/応永卅二乙巳具注曆」との外題が付されている。確かに、現状の紙背(裏)は先述のように後宇多院七回忌の記録で元徳二年(一三三〇)にかかっているが、その年次から後亀山院ではありえない。なぜ、このような単純な事実誤認を犯したのだろうか。それは、紙背の記録が後亀山院の年忌供養に関わるものであったからではないだろうか。この具注曆が使用され

た応永三二年は後亀山院三回忌に当たり、続いて永享二年(一四三〇)には七回忌が修されたはずである。本史料は応永三三年以後、いったんすぐに反故にされたであろう。しかし、まもなく永享二年の後亀山院七回忌を迎えるにあたって、その先例勘案のために、院の曾祖父に当たる大覚寺統の後宇多院七回忌の記録を書写すべき料紙として、具注曆の紙背が再利用された可能性がある。この追善供養は、打ち続く社会不安の背後に後亀山院の怨念を感じていた、本史料の記主を含む当時の人々の間で、その鎮魂を祈りつつ行われたことであろう。

これ以上の立ち入った考察は他日に譲りたいが、ともあれ応永三二年は、南北朝合一後の室町社会にくすぶる様々な不安が、足利義量・小河口等重要人物の薨去や、地震・天皇不予等の打ち続く事件に伴って噴出した年であった。本史料は、その動静を伝えるものとして、今後さらに他の史料と突き合わせながら分析する必要がある。

その他、本史料には伊勢五十鈴川で七カ日行水すれば伝尸病(肺結核)が治る(八月一八日条)、くちはみ(蝮)にかまれた際にはイモの花等を揉んでつけるのがよい(閏六月一九日条)など、当時の民俗や習俗に関連する記事も散見される。また、しばしば頭書として「六十礼」「眼千」「カカカ千」などと注記されている。これは、記主が毎日行った仏事修行を記したものと思われる。例えば、「六十礼」は礼拝行を六十回、眼千・カカカ千は仏眼真言・地藏真言各千遍といった意味であろうか。僧侶の日常的な勤行のあり方を示す貴重な記録であり、公家日記に比し必ずしも豊富とは言えない中世僧侶の日記としても、今後大いに注目してゆく必要がある。

最後に、本史料の調査について格段の便宜を与えられたバイネッキ図書館およびスターリング図書館東アジア図書館、特にエレン・ハモンド氏(Ellen Hammond)および中村治子氏にあつく御礼申し上げたい。

二〇一一年一月の大雪の後、筆者は中村氏のご案内で、イエール大学キャンパスに隣接する墓地の一角に朝河貫一の墓参を果たすことができた。朝河の墓所の周辺には、雪に埋もれてたたくむ何基かの日本人墓があった。朝河と前後して渡米したと思われる彼らの中には、二〇代の若さで鬼籍に入った人物もあり、志半ばにして異国の土となった無念にしばし思いを致した。本稿を、ささやかながら彼らの墓前に捧げたい。

〔註〕

- (1) 本コレクションの詳しい概要については、「イエール大学蔵・日本文書コレクション目録」『調査研究報告』一一（国文学研究資料館文献資料部、一九九〇年）参照。
- (2) 小峯和明「イエール大学蔵『元徳二年後宇多院聖忌曼荼羅供』」、同編『『平家物語』の転生と再生』笠間書院、二〇〇三年。
- (3) 脇村義太郎『東西書肆街考』岩波書店、一九七九年。
- (4) この題簽自体は、一見して本史料の成立よりかなり下る時期に付されたと思われるが、その時点で紙背の供養記と後亀山院を結びつける何らかの情報が、本史料に付属していたものと考えられる。

【翻刻凡例】

- 一 翻刻に際しては、できるだけ原本の体裁を保つよう努めた。ただし、注記や書入れ記事の体裁を、組版の都合により一部改めたところがある。
- 一 具注暦の一部が原則と異なる場合があるが、原本のままとして注記は施さなかった。
- 一 書入れ記事は太字をもって示した。ただし、暦に関わるものは具注暦の一部とみなしてそのままとし、特に読点を付さなかった。
- 一 ( ) は説明注、〔 〕 は校訂注である。また、本文中に注を挿入した箇所は、○をもって示した。
- 一 朱書は『 』をもって示した。
- 一 改張は「 」をもって示し、頭注に（ 1張 ）のように記した。
- 一 重ね書きの場合は、その文字の傍らに・を付し、もとの文字が判読できる場合は（ × ）をもって示した。

(1張)

〔標紙題簽〕裏書ハ後龜山帝元徳二年漫茶羅之訣

応永卅二乙巳具注曆

〔標紙見返〕

刻限寅刻候也

応永卅二年具注曆日

乙巳歲〔木〕支火

凡三百八十二日

木曜 大歲在乙巳〔名〕大荒落歲、為一年君、不可將兵抵向

大將軍在卯

大陰在卯

日 歲徳在西宮庚〔合〕在乙寅、乙上取土、及宜修造

歲刑在甲

歲破在亥

金 歲殺在辰

黃幡在丑

豹尾在末

右、件大歲已下、其地不可穿鑿動治、因有頽壞事、

須修營者、其日与歲徳・月徳・歲徳合・月徳合・天

恩・天赦・母倉并者、修營無妨

〔歲次鶉尾〕

〔右、件歲次所在、其国有〔福、不可〕將兵抵向〕

戊 天道南行〔宜〕向西行、及宜修造 天徳在丁〔丁〕上取土、及宜避病 月殺在末、用時〔甲〕丙壬

二月小 三月大 四月小 五月小 六月大 閏六月小

正月大

七月小 八月大 九月大 十月小 十一月大 十二月大

正月大建 戊 天道南行〔宜〕向南行、及宜修造 天徳在丁〔丁〕上取土、及宜避病 月殺在丑、用時〔甲〕丙壬 寅 月徳在丙、合在辛〔丙〕辛上取土、及宜修造 月空在壬〔壬〕上取土、及宜修造 三鏡〔乙〕辛乾

寅 月徳在丙、合在辛

〔室宿〕一 日、壬申、金危〔神吉〕沐浴

日出卯四刻二分 辰四十三刻 比目始 弓始 行始 大歳前〔開〕湯殿始 日入酉初一分 夜五十七刻

〔狼一〕二 日、癸酉、金成〔神吉〕沐浴

大歳前〔開〕比目始、吉書吉 弓始 大歳前〔開〕比目始、吉書吉 弓始 大歳前〔開〕比目始、吉書吉 弓始

〔丁門〕三 日、甲戌、火収

大歳後

〔要〕四 日、乙亥、火開〔水〕沢腹堅

大歳後、月徳合、厭重〔開〕元服 齒固 湯殿 比目始 吉書始 行始 乘馬始 與乘始

〔胃〕五 日、丙子、水閉〔天〕浴

大歳後、婦忌、血忌、無翹〔開〕比目始 乘馬始 吉書始 與乘始

〔昂〕六 日、丁丑、水建〔神吉〕沐浴

候小過内 大歳後〔開〕湯殿始 吉書始

〔畢〕七 日、戊寅、土除〔天〕除足甲

大歳後、復、往亡〔元〕弓始 湯殿始 日遊在内 吉書始

〔霽〕八 日、己卯、土満〔神吉〕伐

大歳後、天恩、復元服 弓始 日遊在内

〔參〕九 日、庚辰、金満〔立〕春正月節 東風解凍

候小過外 大歳位、九坎、厭対、復〔伏〕龍在内 至去堂、合、六十日 日入酉初二分 夜五十六刻

〔丁門〕十 日、辛巳、金平〔天〕伐

大歳位、天恩、重弓始 裁衣

〔鬼〕十一 日、壬午、木空〔不〕弔人

大歳位、天恩〔習〕書 元服 移徙 元服 出行 乘船 立門 弓始 吉書始 湯殿始 髮留木

〔柳〕十二 日、癸未、木執〔天〕伐

大夫蒙 大歳位、天恩〔弓〕始

〔星〕十三 日、甲申、水破〔神吉〕伐

大歳位、復

〔金〕十四 日、乙酉、水危〔天〕伐

大歳対、小歳後

〔翼〕十五 日、丙戌、土成〔發〕虫始振

大歳対、小歳後、月徳、厭〔翼〕以下同

(2張)

(3張)

けいさん、勳民誕生日十六日也、  
 [太補] 日十六日、丁亥、土収沐浴 除手足甲  
 [蠶] 日十七日、戊子、火開沐浴 不視病  
 [角] 日十八日、己丑、火閉除足甲 大歲対、小歲後、無翹、重、往亡與乘始  
 [蠶] 日十九日、庚寅、木建除足甲 大歲対、母倉元服 立門嫁娶 乘船  
 [元] 日二十日、辛卯、木除魚上水 三陰  
 [房] 日廿一日、壬辰、水滿「五」 大歲前、九坎、厭対  
 [心] 日廿二日、癸巳、水平下弦 大歲前、重元服 與始吉  
 [尾] 日廿三日、甲午、金定「神吉」 大歲前、復嫁1 元服 出行 乘船  
 [蠶] 日廿四日、乙未、金執「下食時亥」 大歲前、歲対  
 [斗] 日廿五日、丙申、火破雨水在月中 公漸 大歲前、月徳  
 [女] 日廿六日、丁酉、火危「神吉」 掘井  
 [虛] 日廿七日、戊戌、木成 大歲前、厭  
 [危] 日廿八日、己亥、木収「沐浴」 大歲前、無翹、重乘舟 元服  
 [太1] 日廿九日、庚子、土開「神吉」 大歲前、復  
 [狼1] 日卅日、辛丑、土閉「除手足甲」 大歲前、帰忌、血忌、月殺  
 [奎] 日卅一日、壬寅、土開「神吉」 大歲前、帰忌、血忌、月殺  
 [蠶] 日卅二日、癸卯、土閉「神吉」 大歲前、帰忌、血忌、月殺  
 二月小建「土府在巳 土公在竈」  
 己 天道西南行 天徳在坤 月殺在戌、用時良巽  
 卯 月徳在甲、合在巳 月空在庚 三鏡「甲丙庚」 手乾庚

(4張)

月曜「奎宿」 一日、壬寅、金建「三吉」 除足甲 辟泰 大歲前元服 步行  
 [妻] 二日、癸卯、金除「神吉」 大歲前  
 [胃] 三日、甲辰、火滿 大歲前、九坎、厭対、復  
 [木] 四日、乙巳、火平「神吉」 大歲前、重元服 乘舟 髮曾木 吉  
 [眼干、減門] 五日、丙午、水定「神吉」 大歲後「移徙」 出行 與乘始  
 [畢] 六日、丁未、水執「神吉」 大歲後  
 [癸] 七日、戊申、土破「神吉」 侯需内 大歲後  
 [眼九百、五十札、蠶] 八日、己酉、土危「神吉」 大歲後  
 [井] 九日、庚戌、金成「驚蟄」 侯需外 陰錯、復、厭  
 [柳] 十日、辛亥、金成「驚蟄」 侯需外 大歲後、重、復  
 [星] 十一日、壬子、木収「神吉」 大歲前立屋 嫁娶 立倉  
 [蠶] 十二日、癸丑、木開「伐」 大歲前、九坎  
 [張] 十三日、甲寅、水閉「除足甲」 大歲前、九坎  
 [蠶] 十四日、乙卯、水建「望」 陽錯、「厭対」 復  
 [蠶] 十五日、丙辰、土除「倉庚鳴」 大歲前「小川」 行 元服 裁衣 慈尊院  
 [角] 十六日、丁巳、土除「倉庚鳴」 大歲前「小川」 行 元服 裁衣 慈尊院  
 [蠶] 十七日、戊午、火開「沐浴」 大歲前「小川」 行 元服 裁衣 慈尊院  
 [角] 十八日、己未、火閉「除足甲」 大歲前「小川」 行 元服 裁衣 慈尊院  
 [蠶] 十九日、庚申、木建「除足甲」 大歲前「小川」 行 元服 裁衣 慈尊院  
 [房] 二十日、辛酉、木除「魚上水」 大歲前「小川」 行 元服 裁衣 慈尊院  
 [心] 廿一日、壬辰、水滿「五」 大歲前「小川」 行 元服 裁衣 慈尊院  
 [尾] 廿二日、癸巳、水平下弦 大歲前「小川」 行 元服 裁衣 慈尊院  
 [蠶] 廿三日、甲午、金定「神吉」 大歲前「小川」 行 元服 裁衣 慈尊院  
 [斗] 廿四日、乙未、金執「下食時亥」 大歲前「小川」 行 元服 裁衣 慈尊院  
 [女] 廿五日、丙申、火破雨水在月中 大歲前「小川」 行 元服 裁衣 慈尊院  
 [虛] 廿六日、丁酉、火危「神吉」 大歲前「小川」 行 元服 裁衣 慈尊院  
 [危] 廿七日、戊戌、木成 大歲前「小川」 行 元服 裁衣 慈尊院  
 [太1] 廿八日、己亥、木収「沐浴」 大歲前「小川」 行 元服 裁衣 慈尊院  
 [狼1] 廿九日、庚子、土開「神吉」 大歲前「小川」 行 元服 裁衣 慈尊院  
 [奎] 卅日、辛丑、土閉「除手足甲」 大歲前「小川」 行 元服 裁衣 慈尊院  
 [蠶] 卅一日、壬寅、土開「神吉」 大歲前「小川」 行 元服 裁衣 慈尊院  
 [蠶] 卅二日、癸卯、土閉「神吉」 大歲前「小川」 行 元服 裁衣 慈尊院  
 二月小建「土府在巳 土公在竈」  
 己 天道西南行 天徳在坤 月殺在戌、用時良巽  
 卯 月徳在甲、合在巳 月空在庚 三鏡「甲丙庚」 手乾庚





礼五十五

〔不申人〕  
尾 十六日、丙辰、土閉 除手足甲

日出卯初二分 日五十六刻  
大歳位、月殺  
日入酉三刻五分 夕四十四刻

礼五十、

〔天將軍返東〕  
土 十七日、丁巳、土建 蚯蚓出

陽錯、重

礼五十、

〔不視病 不申人〕  
斗 十八日、戊午、火除

歳博 茶三袋ウム院給了、 日遊在丙

〔金剛峯 不問疾〕  
月 十九日、己未、火満

陰錯、孤辰、九坎、往亡 日遊在丙

〔太一〕  
火 廿日、庚申、木平 沐浴

大歳対、無翹、血忌

〔危 忌遠行 沐浴〕  
水 廿一日、辛酉、木定 神吉

大歳対并掃 髪曾木 御比

〔室 王瓜生 伐〕  
木 廿二日、壬戌、水執 下弦

大歳対、復 廿二日御暇ヲ申入了、

〔穢 天〕  
金 廿三日、癸亥、水破

サカノ京経也、陰陽交破、重 茶五袋 覚勝院給了、

〔空 王公遊北〕  
土 廿四日、甲子、金危 沐浴

日出卯初一分 日五十七刻  
大小歳対  
日入酉四刻一分 夜四十三刻

〔妻 天〕  
日 廿五日、乙丑、金成 除手甲

大小歳後、婦忌、厭対 除土蠱 井掃 吉

〔滅門 天〕  
月 廿六日、丙寅、火収 除足甲

大小歳後 出行 吉  
円百 石三百 二百ヲ励ミシ  
ヲ□□□クサ無申計吉事也、

香鈍色返納、道ニテヲトス云々、

〔不視病 不申人〕  
火 廿七日、丁卯、火開 神吉

大歳後 移徙 嫁娶 元服 吉  
大歳後 出行 乘舟 吉

〔不視病 不申人〕  
水 廿八日、戊辰、木閉

絶陰、月殺 日遊在丙

〔不問疾 不申人〕  
木 廿九日、己巳、木建

陽錯純陽、重 日遊在丙

壬 天道西北行 天徳在乾 月殺在丑、用時 良乾 坤良

五月大建 『土府在午 土公在門』  
午 月徳在丙、合在辛 月空在壬 三鏡 壬坤良

(8張)

六十礼、言千、眼千、(ア)千、 岩実石三百、小法師三百、又米三百、 真如院  
〔狼一〕參宿 一 日、庚午、土除 神吉 伐 大歳後 月徳 衛門殿誕生、 一族  
〔金曜〕 一 日、庚午、土除 神吉 伐 大歳後 月徳 衛門殿誕生、 一族  
うか生百卅六文、 一テイ、

六十礼、并二 日、辛未、土満 〔天一未申〕  
言千、土二 日、辛未、土満 孤辰、九坎、厭

七十礼、(カカカ)千、 日出寅四分 日五十八刻  
〔太一〕 〔鬼三〕 日、壬申、金平 神吉 減 大歳後、血忌、無翹、復  
日入戌初一分 夕四十二刻

六十礼、柳四 日、癸酉、金定 神吉 辟乾 大歳後 茶三袋、菊若父クル、 無勿体、

〔星五〕 日、甲戌、火執 大歳前 安楽院、  
ソ、リ二袋、大小葉三袋、

三十礼、水六 日、乙亥、火破 沐浴 除手足甲 大小歳前、重

〔翼七〕 日、丙子、水危 上弦 〔七鳥〕 大小歳前、復 随心院十袋、

五十礼、金八 日、丁丑、水成 小暑至 大小歳前、婦忌、厭対

〔滅門 土〕 日、戊寅、土収 除足甲 下食時寅 不視病 大小歳前裁衣吉 日遊在丙

五十礼、元 日、己卯、土開 神吉 伐 候大有丙 大歳前、天恩 日遊在丙  
目クラニ三袋施与了、

十礼、豆 十一日、庚辰、金閉 大歳後、月殺

〔房 大將軍返東 伐〕 日、十二日、辛巳、金建 大歳後、重

〔心 天 一 戌 亥 下食時卯 不申人〕 日、十三日、壬午、木建 芒種五月節 候大有外 大歳後 厭 出行吉  
日入戌初二分 夕四十二刻

〔尾 三吉〕 日、十四日、癸未、木除 伐 大歳後、天恩、復、無翹

(9張)

〔王公人〕  
 〔金〕十五日、甲申、水満望〔夜〕  
 〔日體大分皆既、虧初末七刻廿八分〕  
 大歳後  
 〔加時申一刻廿七分、復末西八刻廿三分〕

〔斗〕十六日、乙酉、水平〔除手足甲、沐浴〕 大歳前 御葬僧御百个、日被行也云々、  
 〔三吉〕 大夫家人

〔女〕十七日、丙戌、土定 〔五〕 大歳前、月徳 真光院ヨリ十袋、  
 〔蜜〕 〔虚〕十八日、丁亥、土執、賜始鴨〔七鳥〕 大歳前、重、復  
 〔天將軍遊内、天一子、不視病〕

〔狼一〕 〔火〕十九日、戊子、火破〔沐浴〕 大歳前、厭対  
 〔不聞疾〕

〔室〕 〔水〕廿日、己丑、火危〔除手甲〕 大歳前、月殺  
 〔不聞疾〕

〔木〕廿一日、庚寅、木成〔除足甲〕 大歳前、婦忌  
 〔三吉〕

〔羅刹〕  
 〔太一〕 〔金〕廿二日、辛卯、木収 大歳位、九坎、血忌  
 〔不申人〕 柳井

〔要〕 〔三〕廿三日、壬辰、水開〔反舌無聲、下弦〕 大歳位  
 〔不申人〕 〔五〕

〔蜜〕 〔胃〕廿四日、癸巳、水閉 大歳位、重、復  
 〔三吉〕 天一天上 忌遠行  
 〔土公遊南 下食時卯 不申人〕

〔四十礼〕 〔卯〕廿五日、甲午、金建 大歳位、天赦、厭出行  
 〔日出一刻四分半、日六十刻、日入戌初二分、夕四刻〕 乘舟吉 日遊在丙

〔四十礼〕 〔畢〕廿六日、乙未、金除 大歳位、無翹  
 〔五〕

〔水〕 〔癸〕廿七日、丙申、火満〔沐浴〕 大歳位、月徳  
 〔神吉〕

〔參〕 〔木〕廿八日、丁酉、火平〔夏至五月申、鹿角解〕 大歳位、復、往亡  
 〔三吉、天間〕 公威

〔金〕 〔井〕廿九日、戊戌、木定〔除手足甲〕 大歳位  
 〔日遊在丙〕

六月大建 〔土府在戌 土公在門〕  
 癸 天道東行 天徳在甲 月殺在戌、用時乙丁  
 未 月徳在甲、合在丑 月空在庚 三鏡〔甲乙丁、庚辛癸〕

(10張)

卅礼、〔鬼曜〕一日、己亥、木執〔沐浴〕 大歳位、重〔乘舟吉〕 勸  
 〔土曜〕

〔蜜〕 〔柳〕二日、庚子、土破〔沐浴〕 大歳位、厭対〔出行吉〕  
 〔三吉〕 天將軍遊西 土公人

〔星〕三日、辛丑、土危〔除手甲、沐浴〕 大歳位、月徳合  
 〔三吉〕 〔五〕

〔張〕 〔火〕四日、壬寅、金成〔除足甲、蟬始鳴〕 大歳位、婦忌  
 〔三吉〕

〔翼〕 〔水〕五日、癸卯、金収 大歳位、九坎、血忌、復  
 〔不申人〕 群婦

〔不申人〕 〔木〕六日、甲辰、火開設 大歳位  
 〔三吉〕

〔角〕 〔金〕七日、乙巳、火閉〔神吉〕 大歳位、重〔元服 裁衣〕  
 〔天將軍返東忌遠行〕

〔元〕 〔土〕八日、丙午、水建〔上弦〕 陰陽俱錯、厭勸 自八日西西參往、  
 〔金剛峯下食時卯不申人〕 (羅闕以下同)

〔豆〕 〔三〕九日、丁未、水除〔神吉〕 大歳対、無翹、復〔門吉〕  
 〔不視病〕

〔房〕 〔月〕十日、戊申、土満〔半夏生、沐浴〕 大歳対、歳徳  
 〔三吉〕 土公遊西 不聞疾

〔心〕 〔火〕十一日、己酉、土平〔神吉〕 大歳対  
 〔三吉〕 天一其寅 不聞疾 日遊在丙

〔尾〕 〔水〕十二日、庚戌、金定 大歳対  
 〔三吉〕 侯鼎丙

〔三吉〕 〔箕〕十三日、辛亥、金執〔沐浴〕 大歳対、重  
 〔神吉〕

〔天將軍遊北〕  
 〔斗〕十四日、壬子、木破 陰陽衝擊、厭対  
 〔三吉〕 小暑六月節 侯鼎外 日出寅三刻五分 日五十九刻 日入戌初二分 夕四十一刻

〔空〕 〔女〕十五日、癸丑、木破 大歳位、月徳  
 〔三吉、土公人〕 温風至 日出寅三刻五分 日五十九刻 日入戌初二分 夕四十一刻

〔蜜〕 〔虚〕十六日、甲寅、水危〔除手足甲〕 大歳位、月徳  
 〔三吉、土公人〕

〔狼一〕 〔危〕十七日、乙卯、水成〔神吉〕 大歳位、嫁娶〔髮曾木、元服吉〕  
 〔三吉、天一卯〕

〔滅門〕	〔室〕十八日、丙辰、土収 <small>〔天間不申人〕</small>	大夫豊	大歳位	卅礼	〔柳〕二日、庚午、土閉 <small>〔土公入不申人〕</small>	大歳後、無翹	勸学会今日マテ 六ヶ日云々、
〔辟〕	十九日、丁巳、土開 <small>〔天將軍返東忌夜行〕</small>		陰錯、重、厭	同	〔星〕三日、辛未、土建 <small>〔天一本申〕</small>	大歳後 出行 乗船	
〔奎〕	廿日、戊午、火閉 <small>〔不視病不申人〕</small>	木 蠶 蜂 居 壁	遂陣、無、翹、復	同	〔張〕四日、壬申、金除 <small>〔沐浴〕</small>	大歳後	
〔婁〕	廿一日、己未、火建 <small>〔不問疾〕</small>	金	陽錯、復	師徒日	〔翼〕五日、癸酉、金満 <small>〔土潤海暑〕</small>	大歳後、血忌 <small>〔裁衣〕</small>	自今日於大覺寺 二星合御祈、愛 染供、学衆結番、
赤	〔胃〕廿二日、庚申、木除 <small>〔初伏〕</small>	木	大歳対	同	〔軫〕六日、甲戌、火平 <small>〔除手足甲〕</small>	大歳前、月徳 <small>〔乗舟吉〕</small>	今日二座、 海營、
〔空〕	〔昂〕廿三日、辛酉、木満 <small>〔下弦〕</small>	木	大歳対、血忌 <small>〔井掘吉〕</small>	大赤	〔角〕七日、乙亥、火定 <small>〔上弦〕</small>	大歳前、厭対、重 <small>〔日〕</small>	大歳前、厭対、重 <small>〔日〕</small>
三位殿誕生也、	〔天〕廿四日、壬戌、水平 <small>〔伐〕</small>	卿 渙	大歳対、月殺 <small>〔裁衣〕</small>	〔奎〕	〔元〕八日、丙子、水執 <small>〔伐〕</small>	大歳対、帰忌、九坎、往亡	大輔殿酒給了、 無勿体々々々、一十口云々、
〔火〕	廿五日、癸亥、水空 <small>〔鷹之學習〕</small>	火	大歳後、厭対、重 <small>〔元服 興乘始〕</small>	卅礼	〔豆〕九日、丁丑、水破 <small>〔除手足甲〕</small>	大小歳前	
〔參〕	廿六日、甲子、金執 <small>〔羅刹土公遊北下食時辰〕</small>	水	大歳後、帰忌、九坎	〔房〕	十日、戊寅、土危 <small>〔大雨時行〕</small>	大小歳前、復	日遊在內
〔金剛峯 忌遠行〕	〔井〕廿七日、乙丑、金破 <small>〔相事〕</small>	木	大歳後	〔心〕	十一日、己卯、土成 <small>〔神吉 伐〕</small>	大歳前、月徳合、復	日遊在內
〔三吉天一午〕	〔三吉天一午〕	赤	大歳後 石二百文、福泉布施内	〔尾〕	十二日、庚辰、金収 <small>〔不申人〕</small>	大歳後 愛供十二日可有御結願、	
〔同〕	〔同〕	〔同〕	大歳後 下行之、	〔箕〕	十三日、辛巳、金開 <small>〔伐〕</small>	大歳後、厭、重	
〔同〕	〔同〕	〔同〕	大歳後 元服 吉 出行	〔斗〕	十四日、壬午、木閉 <small>〔神吉 不申人〕</small>	大歳後、無翹 出行 裁衣	
〔同〕	〔同〕	〔同〕	大歳後、復 宝井院入御、	〔安〕	十五日、癸未、木閉 <small>〔望 伐〕</small>	大歳対	
〔同〕	〔同〕	〔同〕	大歳後、復 宝井院入御、	〔虚〕	十六日、甲申、水建 <small>〔下食時 伐〕</small>	大歳対、復	
〔同〕	〔同〕	〔同〕	大歳後、復 宝井院入御、	〔虚〕	十六日、甲申、水建 <small>〔下食時 伐〕</small>	大歳対、復	
〔同〕	〔同〕	〔同〕	大歳後、復 宝井院入御、	〔虚〕	十六日、甲申、水建 <small>〔下食時 伐〕</small>	大歳対、復	

〔狼〕  
師徒日  
卅礼  
水 十七日、乙酉、水除夜

三陰、九坎  
大ノ地振寅刻歟、  
寅時香前ヲハル後  
ナル故、大凶也、丑  
時オラハ無殊事云々、  
〔後龜山天皇〕  
仙洞御崇云々、

仁和寺殿持願院地振御祈、

〔室〕  
木 十八日、丙戌、土満  
〔忌夜行〕  
大夫人 大歳位、厭対

今日地振御祈、私申之也、

〔下門〕  
卅礼 金 十九日、丁亥、土平、沐浴  
〔不視病〕

大歳位、重裁衣

今日大実寺殿折可申、

クチハシノサシタル  
ニハ、イモノ花ヲモ  
ミテ付、又ハウシノ  
ヒタイト云物ヲモミ  
テ付、イモノ葉ノ巻  
テイツルヲトリテモ  
ミテ付ルモ最上ナリ、

五十三礼、

〔天將軍遊内 天一子 不視病〕  
土 廿 日、戊子、火定、沐浴  
〔不問疾〕

大歳位 出行 乗舟 吉  
日遊在內

〔蜜〕  
旦 廿一日、己丑、火執、除手申

大歳位、帰忌  
日遊在內

聖無動院ニ自此るす示申、

御所へハ午刻ニ示歟、

〔胃〕  
月 廿二日、庚寅、木破、除足申

大歳位、復

〔昂〕  
火 廿三日、辛卯、木危、下茲

大歳後、往亡  
日出卯初三分 且五十五刻  
日入酉三刻四分 夕四十五刻

〔不市人〕  
四十礼、水 廿四日、壬辰、水成、夜

大歳後、血忌、厭  
〔五〕  
卿同人

〔天〕  
卅礼、木 廿五日、癸巳、水収、寒鯉鳴  
〔大將軍返東 天一天上〕

大歳後、無翹、重  
毒フル故ニ、自廿五ニチ夕廿六日ノ子  
時マテ井ニフタラシテ不用之云々、  
日遊在內

〔參〕  
三十礼、金 廿六日、甲午、金開、神吉  
〔不市人〕

大歳後、復

〔并〕  
四十礼、土 廿七日、乙未、金閉  
〔大將軍南 不市人〕

大歳後、月殺  
日遊在內

〔下食時巳〕  
〔食〕  
四十礼、日 廿八日、丙申、火建、沐浴  
〔神吉〕

大歳後 十月十二日齋濟誕生、  
胃宿午時年月生、

〔忌遠行〕  
〔柳〕  
師徒日 月 廿九日、丁酉、火除、除手足申

大歳後、九坎

七月小建

甲 天道北行 天徳在癸 月殺在未、用時 庚申  
申 月徳在壬、合在丁 月空在丙 三鏡 乙辛乾 艮巽坤

四十礼、

〔張宿〕  
火 一 日、戊戌、木満、処暑七月申  
〔公損 鷹乃祭鳥〕

大歳後、厭対 立門 乘舟 塗龜

〔不問疾〕  
〔翼〕  
四十礼、日 己亥、木平、神吉  
〔神吉〕

大歳後、重 乘舟 元服 神吉  
日出卯一刻一分 且五十四刻  
日入酉三刻二分 夕四十六刻

〔天將軍遊西 土公入〕  
十一礼、木 三 日、庚子、土定  
〔九虎〕

大歳後、復

〔五塞〕  
卅礼、金 四 日、辛丑、土執

大歳後、帰忌

〔金剛峯 三吉〕  
四十礼、土 五 日、壬寅、金破、除足申

大歳後、月徳 移徙 立屋 嫁娶 元服 出行 始  
立門 興乘始

〔空〕  
四十礼、日 癸卯、金危、天地始 肅  
〔除手足甲〕

大歳後 元服 立門 裁衣 吉

〔危〕  
欠 一買失午 月 七 日、甲辰、火成  
〔不市人〕

陰錯、血忌、復、厭



法滅日 〔三〕三日、己巳、木成秋分八月中公貴 大歳対、重勸 介アサリ重清、入滅度、廿一也、

〔丁門〕 錢財難 危 大歳対、九坎

〔土房〕 土四日、庚午、土収〔王公入不中人〕 大歳対、復、往亡〔納財吉〕

〔蜜〕 〔心〕五日、辛未、土開〔三吉〕 大歳対、復、往亡〔納財吉〕

〔土〕 法滅日 成 大歳対、復、往亡〔納財吉〕

〔土〕 〔心〕五日、辛未、土開〔三吉〕 大歳対、復、往亡〔納財吉〕

自法身院退出候也、

大歳対、重勸 介アサリ重清、入滅度、廿一也、

大歳対、九坎

大歳対、復、往亡〔納財吉〕

赤 出財吉 〔奎〕十四日、庚辰、金危〔三吉〕 大歳対、無翹、月殺〔納財吉〕

〔妻〕十五日、辛巳、金成〔夜〕 大歳対、重、復〔勸〕

〔天変トフ、〕 大歳対、重、復〔勸〕

〔天〕十六日、壬午、木収望〔天一戌多不中人〕 大歳対、九坎 納財吉 重二七日、

〔天〕十七日、癸未、木開〔夜〕 大歳対、母倉 皆明初七日、

〔天〕十八日、甲申、水開〔夜〕 大歳対、厭対

〔天〕十九日、乙酉、水閉〔神吉〕 大歳位

〔天〕二十日、丙戌、土建〔五〕 大歳位、重、元服 裁衣

〔天〕廿一日、丁亥、土除〔沐浴〕 大歳位、重、元服 裁衣

〔天〕廿二日、戊子、火満〔沐浴〕 大歳位、重、元服 裁衣

〔天〕廿三日、己丑、火平〔下弦〕 大歳位、復、重清三七日、

〔天〕廿四日、庚寅、木定 行很、九坎、厭 皆明二七日、

〔天〕廿五日、辛卯、木執 絶陽、無翹 学業中よりのものイリ也、

〔天〕廿六日、壬辰、水開〔夜〕 大歳位、重、元服 裁衣

〔天〕廿七日、癸巳、土開〔夜〕 大歳位、重、元服 裁衣

〔天〕廿八日、甲午、火満〔沐浴〕 大歳位、重、元服 裁衣

〔天〕廿九日、乙未、土開〔夜〕 大歳位、重、元服 裁衣

〔天〕三十日、丙申、水閉〔神吉〕 大歳位、重、元服 裁衣

〔天〕三十一日、丁酉、土建〔五〕 大歳位、重、元服 裁衣

〔天〕三十二日、戊戌、火満〔沐浴〕 大歳位、重、元服 裁衣

〔天〕三十三日、己亥、土開〔夜〕 大歳位、重、元服 裁衣

〔天〕三十四日、庚子、火満〔沐浴〕 大歳位、重、元服 裁衣

〔天〕三十五日、辛丑、土開〔夜〕 大歳位、重、元服 裁衣

〔天〕三十六日、壬寅、火満〔沐浴〕 大歳位、重、元服 裁衣

〔天〕三十七日、癸卯、土開〔夜〕 大歳位、重、元服 裁衣

〔天〕三十八日、甲辰、火満〔沐浴〕 大歳位、重、元服 裁衣

〔天〕三十九日、乙巳、土開〔夜〕 大歳位、重、元服 裁衣

〔天〕四十日、丙午、火満〔沐浴〕 大歳位、重、元服 裁衣

〔天〕四十一日、丁未、土開〔夜〕 大歳位、重、元服 裁衣

大歳対、無翹、月殺〔納財吉〕

善光寺与相国寺同時焼、十四日二相国寺悉焼失云々、但良角塔三ノコル云々、

大歳対、重、復〔勸〕

大歳対、九坎 納財吉 重二七日、

大歳対、母倉 皆明初七日、

大歳対、厭対

大歳位

大歳位、重、元服 裁衣

大歳位、重、元服 裁衣

大歳位、重、元服 裁衣

大歳位、重、元服 裁衣

大歳位、復、重清三七日、

行很、九坎、厭 皆明二七日、

絶陽、無翹 学業中よりのものイリ也、

大歳位、重、元服 裁衣

〔赤〕 日廿六日、壬辰、水破〔伐〕 〔五〕 絶陽 三問一服之次、世滯、

宰相殿帰寺了、学衆もてなし申、損少く真悲院御助成、

出財吉 月廿七日、癸巳、水危 卿明夷 絶陽、血忌、重 日遊在丙

錢財離 〔角〕 廿八日、甲午、金成 〔王公遊南、不申人〕 日遊在丙 日遊在丙 日遊在丙

〔太一〕 出財忌 空 〔元〕 廿九日、乙未、金収 〔五藝〕 絶陽 三上ノ修理亮ノ子常化坊ノ行位禱、

飯尾殿、十人舍弟、

〔豆卅〕 日、丙申、火開土用事 勸 絶陽、厭対 清四七日、

戊申 午辰 寅 戊癸 十一 九七五三 丙辛丁壬

九月大建 『土府在亥、土公在井』

丙 天道南行 天徳在丙 月殺在丑 用時乙丁

戊 月徳在丙、合在辛 月空在壬 三鏡乙丙丁 辛壬癸

赤 〔豆宿 金曜〕 一 日、丁酉、火閉勸 絶陽 皆明三七日、 日遊在丙

仏眼三千返、 〔房〕 二 日、戊戌、木建勸 単陽、復 日遊在丙

離錢日、御所四十九日、 〔不問疾〕 〔雷降九月中 公困 大歳後、重、復乗舟 日遊在丙〕

〔蜜〕 〔心〕 三 日、己亥、木除 〔不問疾〕 〔雷降九月中 公困 大歳後、重、復乗舟 日遊在丙〕

空、四十礼、尊百反、 〔大将軍遊西 土公入 九虎 大歳後、帰忌 尊四十九、 日遊在丙〕

〔丁〕 門 〔糞〕 五 日、辛丑、土平 〔忌遠行 五〕 大歳後、月徳合 四十礼、 尊百、 日遊在丙

〔平〕 六 日、壬寅、金定勸 〔仏眼二千、 日遊在丙〕 了戻、九坎 厭 四十礼、 日遊在丙

大歳後、無翹四十礼、 尊百、 重四七、

〔狼一〕 〔女〕 七 日、癸卯、金執勸 〔神吉 大歳後 出行 乗舟吉 皆明四七、

信乗アサリ誕生、 〔危〕 九 日、乙巳、火危勸 〔下食時未 辟刺 大歳後、血忌、重 四十礼、尊百、

〔蜜〕 〔室〕 十 日、丙午、水成 〔神吉 大歳前、月徳 仏眼二千、尊百

〔太禍〕 〔辟〕 十一日、丁未、水収 〔神吉 大歳前裁衣

空 〔奎〕 十二日、戊申、土開沐浴 〔不視病 大歳前、天赦、厭対、復 日遊在丙

赤 〔婁〕 十三日、己酉、土閉 〔穀虫威俯 沐浴 大歳前、復 日遊在丙

出財凶 〔胃〕 十四日、庚戌、金建 〔日遊在丙 陽錯、往亡 重五七、

出財良日 〔昴〕 十五日、辛亥、金除 〔仏千 侯良内 大歳前、重 皆五七日、

出財凶 〔畢〕 十六日、壬子、木満 〔神吉 除手足甲 仏千 大歳後、帰忌シハヌスムノアラチ、 又請ニコントルヘケレ、

〔滅門〕 〔癸〕 十七日、癸丑、木平 〔除手甲 伐 大歳後

〔太禍〕 〔參〕 十八日、甲寅、水平 〔立冬十月節 侯良外 大歳対、無翹

〔狼一〕 〔井〕 十九日、乙卯、水定 〔神吉 大歳対

尊千、 〔鬼〕 廿 日、丙辰、土執 〔不申人 大歳対、復 出行 裁衣吉

尊千、 〔柳〕 廿一日、丁巳、土破 〔大将軍返東 大夫既済 陰陽交破、重 重六七、

尊、 〔星〕 廿二日、戊午、火危 〔神吉 日遊在丙 大歳位 日遊在丙 皆六七、

(17張)

尊、  
「張」廿三日、己未、火成不問疾、  
「張」廿三日、己未、火成下弦、  
「張」廿三日、己未、火成地始凍、  
大歳位、厭対乘舟吉、  
日遊在內

尊、  
「門」廿四日、庚申、木収神吉、  
「天」廿四日、庚申、木収沐浴、  
大歳位、深清誕生日、

尊、  
「門」廿五日、辛酉、木開沐浴、  
「天」廿五日、辛酉、木開沐浴、  
大歳位、

尊、  
「角」廿六日、壬戌、水閉夜、  
「天」廿六日、壬戌、水閉夜、  
大歳位、復、月殺、  
弁殿生日九月廿六日角宿也、

尊、  
「元」廿七日、癸亥、水建設下食時中、  
「天」廿七日、癸亥、水建設六蛇、  
陽錯、九坎、血忌、重

尊、  
「豆」廿八日、甲子、金除沐浴、  
「羅刹」廿八日、甲子、金除沐浴、  
大歳前、天赦、往亡裁衣、  
重七、日、

尊、  
「房」廿九日、乙丑、金満野鶏入大水為蜃、  
「甘呂」廿九日、乙丑、金満野鶏入大水為蜃、  
孤辰、帰忌、厭、  
御坊住山科内五百文、石三百文、

尊、  
「心」三十日、丙寅、火平除手足甲、  
「天」三十日、丙寅、火平天開、  
大歳前、無翹、復、同住二百文尼、

尊、  
「天」十月小建、天道東行、天徳在乙、  
「土」十月小建、土府在辰、土公在庭、  
月殺在戊、用時庚甲、  
亥、月徳在甲、合在己、月空在庚、三鏡丁癸坤、  
乾良巽

八幡御祈祷、三宝院御結願、帰京、

尊、  
「日曜」一日、丁卯、火定神吉、  
「心」一日、丁卯、火定神吉、  
日遊在內、  
大歳前元服、  
夕五十七刻

尊、  
「尾」二日、戊辰、木執不問疾、  
「不問疾」二日、戊辰、木執不問疾、  
大歳前塗龜、  
談義始行之、

尊、  
「箕」三日、己巳、木破不問疾、  
「不問疾」三日、己巳、木破不問疾、  
陰陽衝破、重、  
季也、

尊、  
「斗」四日、庚午、土危不問疾、  
「不問疾」四日、庚午、土危不問疾、  
大歳前嫁娶吉、  
長老入御、

尊、  
「門」五日、辛未、土成不問疾、  
「天」五日、辛未、土成不問疾、  
明光来臨云々、  
善法寺可參申、  
大歳前、厭対立門、  
井掘立屋、  
乘舟吉

尊、  
「虛」六日、壬申、金収除手足甲、  
「天」六日、壬申、金収沐浴、  
大歳前、復、

尊、  
「室」八日、甲戌、火閉上弦、  
「天」八日、甲戌、火閉上弦、  
大歳後、月徳移能、  
立門立屋、  
掘井乘舟

尊、  
「辟」九日、乙亥、火建設沐浴、  
「天」九日、乙亥、火建設沐浴、  
大歳後、九坎、血忌、重、  
日遊在內、  
河内一宮ハアウク、  
ラりに歟、

尊、  
「奎」十日、丙子、水除沐浴、  
「天」十日、丙子、水除沐浴、  
大歳後、復興乘始吉、  
裁衣吉、  
入道ナキサノ、  
息寿入道殿子、  
了房息寿仙明、

尊、  
「妻」十一日、丁丑、水満天、  
「天」十一日、丁丑、水満天、  
孤辰、帰忌、厭、

尊、  
「木」十二日、戊寅、土平除手足甲、  
「天」十二日、戊寅、土平除手足甲、  
大歳後、無翹、  
日遊在內、

尊、  
「昂」十三日、己卯、土定神吉、  
「天」十三日、己卯、土定神吉、  
大歳後、月徳合、  
日遊在內、

尊、  
「畢」十四日、庚辰、金執閉塞而成冬、  
「天」十四日、庚辰、金執閉塞而成冬、  
大歳前嫁娶、  
出行吉、

尊、  
「觜」十五日、辛巳、金破望、  
「天」十五日、辛巳、金破望、  
大歳前、重、  
「日蝕大分十五分之十一半強、虧初寅二刻七十分半、  
「復」大歳前、  
「加時卯二刻八分、復未辰一刻四十八分半、

尊、  
「參」十六日、壬午、木危不問疾、  
「天」十六日、壬午、木危不問疾、  
大歳前、復嫁娶、  
立門、

尊、  
「井」十七日、癸未、木成夜、  
「天」十七日、癸未、木成夜、  
大歳前、厭対、

張本人少々尋問申了、

賊徒退来臨、  
輔殿入夜臨来、  
大歳前立門、  
掘井

河内一宮ハアウク、  
ラりに歟、

入道殿子、  
息寿仙明、  
了房、



〔狼一〕 〔畢〕 十一日、丙午、水破 辟復 陰陽衝擊、厭对、血忌

〔癸〕 十二日、丁未、水危 神吉 仏滅日 大歳位、復、月殺

出財凶 〔參〕 十三日、戊申、土成 沐浴 大歳位、九坎 日遊在內

〔大一〕 〔井〕 十四日、己酉、土収 沐浴 大歳位 變曾木 立門 掘井 日遊在內

西酉談義、乃論第三、三賢相傳覺まで構會了、  
第三位言如法身并以下カラ明年ハ可講之、

出財凶 〔鬼〕 十五日、庚戌、金開 水泉動 法滅日云々、 大歳位 立門 掘井 出行

岩寿十六日後夜誕生、

出財吉 〔柳〕 十六日、辛亥、金閉 望沐浴 除手足甲 大歳位、重

出財凶 〔星〕 十七日、壬子、木建 沐浴 候屯内 陰陽俱錯、厭

法滅日 〔張〕 十八日、癸丑、木除 神吉伐 大歳对、無翹、復 變曾木 吉

〔翼〕 十九日、甲寅、水滿 除足甲 大歳对、婦忌 變曾木 正月事始

〔移〕 廿日、乙卯、水滿 小寒十二月節 候七外 大歳对 嫁娶 掘井 裁衣 吉

〔天間 不申人〕 廿一日、丙辰、土平 大歳对 出行 立門 裁衣 吉 此日百个、

〔天將軍返東〕 廿二日、丁巳、土定 大歳位、九坎、厭对、重

〔不視病 不申人〕 廿三日、戊午、火執 下弦 大夫謙 大歳位、復 日遊在內

〔房 不申疾〕 廿四日、己未、火破 神吉 大歳位、復 日遊在內

〔天一辰巳〕 廿五日、庚申、木危 鷄始果 沐浴 大歳位、月徳

〔狼一〕 〔尾〕 廿六日、辛酉、木成 沐浴 大歳位 變曾木 正月事始

〔滅門〕 〔箕〕 廿七日、壬戌、水収 伐 大歳位

借物返吉 〔平〕 廿八日、癸亥、水開 六蛇 陰錯、重、厭

赤 〔安〕 廿九日、甲子、金閉 沐浴 大小歳前、天赦、婦忌、血忌、無翹

出財凶 〔虛〕 卅日、乙丑、金建 野鷄始鳴 除手足甲 大歳前 立門 井掘 裁衣

十二月大建 己 天道西行 天徳在庚、月殺在辰、用時乙丁  
丑 月徳在庚、合在乙 月空在甲 三鏡 庚辛癸

三十礼、仏眼干 〔三吉 天一土〕 丙寅、火除 除足 大歳前 立門 變曾木 出行

空 水曜 一 日、丁卯、火滿 土用事 三七日蛇動 大歳前 移徙 嫁娶 元服 出行

不出財云々、 〔危〕 二 日、戊辰、木平 臘 五蓋 大歳前、月殺、復 日遊在內

〔天一〕 〔室〕 三 日、己巳、木定 法滅日 大歳前、厭对、九坎、重、復 日遊在內

赤 〔辟〕 四 日、庚午、土執 大寒十二月中 公升 大歳前 正月事始 吉 裁衣

蜜成 〔奎〕 五 日、辛未、土破 除手足甲 法滅 大歳前 正月事始

壞 〔婁〕 六 日、壬申、金危 沐浴 大歳前 煉私

支 〔胃〕 七 日、癸酉、金成 上弦 大歳前

親 〔昴〕 八 日、甲戌、火収 法滅 大歳後 出行 元服 乘舟 吉

空 〔治〕 九 日、乙丑、金建 野鷄始鳴 除手足甲 大歳後 正月事始 煉私 吉

(21張) 出赤  
出財凶

「霽」十日、乙亥、火開沐浴

大小歳後、厭、重

「參」十一日、丙子、水閉不視病

大歳後、帰忌、血忌、無翹正月事始吉

「井」十二日、丁丑、水建除手甲

大歳後、復煤裁衣、御髮上

「鬼」十三日、戊寅、土除除足甲

大歳後、復日出卯四刻一分、日四十三刻、夕五十七刻

「柳」十四日、己卯、土満不視病

大歳後、復日遊在內

「星」十五日、庚辰、金平望

大歳前、月徳御髮上、元服煤弘

「張」十六日、辛巳、金定水沢腹堅

大歳前、九坎

「金」十七日、壬午、木執不申人

大歳前裁衣、正月事始煤弘

「角」十九日、甲申、水危減

大歳前

「元」廿一日、乙酉、水成沐浴

大歳後、往亡御髮上、裁衣吉

「豆」廿一日、丙戌、土成立春正月節

大歳対厭、厭日出卯一刻五分、日四十四刻、夕五十六刻

「房」廿二日、丁亥、土収沐浴

大歳対、無翹、重

「心」廿三日、戊子、火開沐浴

大歳対出行、乘舟嫁娶

「尾」廿四日、己丑、火閉除手甲

大歳対、帰忌、血忌、月殺掘井、日遊在內

「箕」廿五日、庚寅、木建除足甲

大歳対、復嫁娶、元服吉

「斗」廿六日、辛卯、木除蟄虫始振

三陰

「親」

「蜜」

「空」

追申 申刻可有参集也、

禪尼誕生日也、

「安」廿七日、壬辰、水満不申人

「火」廿八日、癸巳、水平大將軍返東

大歳前、九坎、厭対日遊在內

「危」廿九日、甲午、金定不申人

大歳前出行、乘舟吉

「室」卅日、乙未、金執除手足甲

大歳前日遊在內

「後宇多院聖忌曼荼羅供」元徳一年

応永卅一年十一月一日

「卷末補紙、宿紙」

「應永卅二年乙巳」イルナリ迄

具注歴 壹卷

本卷ハ西洞院家之蔵卷ヲ讓受、明治三十七甲辰秋末前後ノ紙軸ヲ補

ス、有前後薄墨紙ハ滋野井家方讓受

星霜四百八十年

持主春和堂印文「春和堂蔵」

○以下、補紙の上に一紙を貼付している。内容上本史料上直接関係するものではないが、参考のためここに収める。

一、九ヶ年巳前……年忌法事ノ入り用途銀ヲ納所方へ渡シ銀払申付ト所、納所方存寄有之トニテの金子ノ替リノ甲乙有之トヲ申立、雜掌宮野若狭御座トの納所方

岡本大隅當年八十五才。石原土佐病死。岡本備前病死。駒井安芸、現在、

右五人同年五月ク比の籠居申付ト、寶輪院存トハ、勅會以後ト申シ、彼院ノ邪氣ト

申シ、併一列之事故其分ニ「イタシ」開成シ「宋鏡を以て抹消する、以下同じ」相待ト、尤納所方ニ金銀ノ

取返トテモ無之トヲ、追日宝輪院下知之様ニ申成シ不和合ニト間觀智院

働役者五人キ静謐ニ仕ト翌日ヨリ又宝輪院ト不和合云々、「宝カ」輪院申トハ、大切ノ

一會成滿之後ニトハ、「諍論モ不快隨分ニ」差扣申ト、

此一件ハ「納所方」金銀ノ出入ヨリ事始リ、「其趣」早陋之儀「三ト

へハ」故、雜掌宮野若狭「帳面何角存知居リト間「若狭ニ」御尋可

有之ト、

一、宝輪院……此院ハ一會内外ノ用事各院ノ中ニハ第一ニ相勤ト、一會首

尾能相濟ト上ハ、卑賤之事ニ鬪諍モ如何故、評定モ退キ心靜ニ「寺役」

可相勤ト存入、其年ノ一月ニ評定ヲ退キ申ト、併其間ニ「色々ノ」難

澁「有之」「故」實ハ彼院ヨリ退ケ申ト、

○朱軸木あり、